

学校評価

2023年9月17日（日）午後1時

委員：荒井栄子（一般市民）、清都真由美（卒園児保護者）、宮本真規子（前保育園所長）

学校評価委員会は幼稚園教諭による自己評価一覧 - 職員編を検討 -

2021年度の学校関係者評価委員会で検討したことを確認し、2022年度の全教諭の集約した評価表公表用の報告を受け検討した。

委員による自己評価についての見解

- 1) きめ細かく保育を試みている様子が見て獲れる。
- 2) 少人数ならではの特性も生かされている。
- 3) 今の方針を維持していくのが良い。

運営全般についての見解

- 1) キリスト教保育を目指しているが、非常勤の先生たちにも共有出来るようにしていく必要があるのではないか。非常勤の先生の中には他の保育所などで長く勤めていた経験があって、その方針などが影響しているなどキリスト教保育とは違う理念が動いていることが見られる。また、他の教派などでの違う理解が入っていて修正を必要とすることもある。
- 2) 人格の尊重というところに向いていないところを修正し、年齢に合わせた対応も出来るようにしていく課題があるのではないか。
- 3) 非常勤の先生も研修を受けてもらうことを、これからは取り組んでいく必要がある。
- 4) 安全システムはバスに取りつけたのだが、最終的には人が確認する必要があることを皆で認識するようにしていく。
- 5) 中止されていた園内研修を再開する必要がある。それを実現するための話し合いを始めてはどうか。
- 6) 危機管理マニュアルの見直しについては保護者へのつながりのところで、様々な検討を要するようになるのではないか。異常気象も激しさを増して来ていることなども考慮に入れる必要がある。